

グローバル人材育成コース

国際センター教授 森 宏一郎

●● グローバルに活躍できる人材の育成へ

経済学部では、平成26年度から、将来グローバルに活躍できる人材を育成するためのコースを設置しました。アジア地域の新興国を中心に成長市場へ迅速かつ効果的に対応しなければならないという日本の社会的ニーズと、卒業後の日本での仕事を含めて日本から学びたい留学生のニーズの両方に応えるために設置されました。実際に、そのニーズは大きく、多くの留学生の応募に加えて、日本人学生については激戦必至の選考となっています。10人程度の募集に対して、平成26年度は140人程度、平成27年度は120人程度の応募がありました。



●● コース学生の構成

本コースは国際的な文脈を学ぶ必要があるため、日本人学生10人程度と留学生10人程度で構成されています。平成26年度は日本人学生13人、留学生11人で、平成27年度は日本人学生12人、留学生14人となっています。留学生は、中国、韓国、ベトナム、マレーシアから来ています。

●● コースの特徴

日本人と留学生の組合せで、大学入門セミナー（1回生ゼミ）、プロジェクト科目（課題解決能力を高めるための体験型協働プロジェクト）、滋賀大学で学ぶ（異文化コミュニケーション）などを実施しています。また、3回生時には、日本人学生は海外で、留学生は日本で、インターンシップを実施します。そのため、語学学習は重要となります。日本人学生については、グローバル人材育成コース専用の少人数の英語授業が用意されています。特にアウトプットを重視するため、ライティングとプレゼン



テーションに焦点を当て、ネイティブ講師によって全て英語で行われています。留学生については、グローバル人材育成コース専用の少人数の日本語授業が用意されています。ベテランの優秀な日本語講師が読解力・書く力・聞き取り力・会話力の4技能をバランスよく伸ばしています。

●● 学生の声

グローバル人材育成コースの学生たちの感想としては、「グローバル用に設定されている授業では山のように宿題・課題が出され、生活が大変なことになるけど、やり抜けば、充実感も自信も得られるから、グローバルコースに入れてよかった。なぜ自分が選考に残れたかは分からないけど(笑)」というような声が多く聞かれます。私はグローバルコース用の大学入門セミナーを担当していますが、学生がなんとかそうした大変な状況をサバイバルできるように、メンターとしても定期的に個人面談を実施しています。

